



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel&Fax894-0052 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~renkyou/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 236 号

2009.06.07

新年度執行部決まる



この度連協の新会長を拝命致しました、比留間哲生でございます。まだ連協に参加して一年足らずの分際で非常に重い責任を感じております。思えば昨年1月31日の早朝に

「NEXCOが道路予定地へ突入した」との電話で起こされ、寝ぼけ眼で訳も分からず飛び出していったのが、この道路運動との関わりの始まりでした。

連日攻防戦を繰り返しているうちに庄戸三丁目町会の道路対策部長を仰せつかり、8月のボーリング調査完了による撤退まで現場で貴重な経験をさせて頂きました。またこの間連協には事務局員として参加させて頂き、諸先輩の方々の20年に亘る輝かしい歴史に触れることが出来ました。本来であればこのような経験不足である未熟者には会長職は無理と承知しておりますが、暖かい皆様のご支援とご指導が得られると確信して代表を務めさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。

皆様ご承知のように時代は変化しつつあります。住民を無視した自分達の保身のための霞が関流はもはや通用しません。今現在、政権交代も近づいています。連協の掲げる「白紙撤回」の目標は最終コーナーに差し掛かっていると言えます。これは高度成長時代の産物で「成長を維持するためにはそのインフラである道路を供給することが第一であり、それに併せてその地域の成長を図る」と言う「ものづくり一辺倒」の時代の遺物であります。時代は変わり住民の合意が必要な今日では、勝手にこのような事業を進めることは許されません。

4号線の下越え計画の検討がなされましたが事業者側からは無理との結論が出たようです。しばらくお休みしていた庄戸トンネル検討委員会がここへ来て一挙に4月、5月と開催し現

計画を軌道に乗せようと躍起になり始めました。朝日平和台、グリーンテラスでの測量標、幅杭設置、測量の通告に引き続き朝日平和台での強行もその焦りの一つと捉えられます。

つまり都市計画決定後15年に当たる今年度中に開催される事業評価監視委員会に、実績報告をしたいがための動きです。庄戸地区では静かな時間が流れていましたが、突然この6月3日に設計・用地説明会を6月29日に開催するとの一方的なる通告がなされました。この説明会は横環南の唯一最後の砦です。政権交代が迫ってきている現在、事業者側は駆け込みで手続きを済ませ既得権益を守ろうと必死でもがいているところです。

連協はその所属する各団体が道路反対の目標に向かって自ら行動することを基本とし、多数の力でより大きな効果を発揮するため横の連絡を取り合い協議し、大きな行動目標を再設定することに大きな役割があると考えます。

お互いに知恵を出し合い新しい時代を作り上げていく一大勢力として、全国の同じ運動をしている仲間達とともに連協として行動し、このような事業者の勝手を許すことなく頑張りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

会長 比留間 哲生

新役員リスト

役名	氏名
会長	比留間 哲生
副会長	田中 克己
副会長	高村 信夫
副会長	近森 仁
副会長	中嶋 仁
事務局長	長谷川 誠二
次長	高橋 光信
編集長	和田 雄偉
事務局総務	岩倉 正剛
環境部長	鈴木 伸之
副部長	高村 鈴子
副部長	横地 美麗里
法都計部長	青木 達喜
副部長	永田 親義
副部長	高村 信夫
会計	関口 豊子
会計監査	佐藤 昇

永年の協力に感謝、 これからも頑張ります

故野島氏の後の会長を2002年から7年間務めました。愚直に一箇に先輩諸兄姉につき従い、今バトンを引継ぐことができたというのが率直な思いです。永年の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

振り返り痛恨の極みは、顧問を経て再度事務局長に復帰し固い絆で私を支えて下さった野島頼達氏の突然の癌発病、ご逝去でした。連協活動に殉じた氏を称え、改めてご冥福を祈る次第です。有難うございました。

後継新会長のご紹介を一言させて下さい。比留間哲生氏は2008年庄戸地区の測量強行に抗議する庄戸3丁目町会の道路委員長として8ヶ月間に及ぶ実力阻止行動を率いました。卓抜の指導力・包容力豊かな人柄で住民の相互信頼・達成感を醸成しつつ混乱なく闘争終息へ、氏の活躍は、連協はもとより事業者・行政側からも敬意と信頼を寄せられるものとなりました。

政権交代が現実性を帯び横環道建設に大転換が予想される時、連協は最適任の会長を迎えたと思います。永年人事問題で眠れぬ夜も重ねてきた私は、天も時には味な配剤をするものと喜び一入です。どうぞ新会長、事務局長コンビに力強いご支援、ご協力を賜りますように！

(前会長 柴田 哲夫)

平和台測量阻止行動ひとまず成功

…6月5日までの現状報告…

高速横環南線は、公田インターから笠間方面に向かって朝日平和台の住宅の地下を通り(仮称公田トンネル)鎌倉女子大前の現環状4号線の地下につなげる計画である。昨年庄戸地区において住民の強い抵抗にもかかわらず、ボーリングと幅杭設置を強行した現在、東日本高速(NEXCO)にとって、幅杭未設置の地区は朝日平和台地区のみとなっている。この測量ができないと、地下工事をするための区分地上権設定もできず、買収も工事もできないという双方にとって極めて重要な節目の作業である。

そこでNEXCOは5月22日(金)、自治会長の了解も取らずに一方向的に予定地周辺住宅に「測量作業の予告チラシ」をポストイン、25日(月)08:30から阿部中工事長を先頭に約30名を

投入し測量を強行実施した。

住民は予め在宅中の住民に呼びかけて予想される拠点にピケを張って対抗したが、計測拠点や幅杭地点が多岐にわたって分散していたことや、NEXCO側が意図的にA地点に測量拠点を設けると見せかけて、その隙に全く予想外のB地点に標識を打ち込むという攪乱作戦などを講じてきたために、当初の2日間は残念ながらNEXCO側のペースで作業を進められてしまった。

しかし第3日目(5月27日午前)にいたって住民側もようやく的確な対応ができるようになった結果、NEXCOは幅杭打ち予定量15ポイントのうち6ポイントを残して5月末まで作業を中止せざるを得なくなった。

その後NEXCOは作業を月～日曜、毎日24時間へと変更を通告、住民は即これを反社会的として文書で撤回を要求する一方、6月1日より24時間の厳戒体制に入った。これを見てNEXCOは強行作戦をあきらめ、6月3日に至り、6月13日実行を目途として、測量の必要性についての「説明会開催」を申し入れてきた。これまで住民は連協の質問集会で十分に学習していることから、単なる事業者の実績稼ぎに過ぎないこの種の説明会は不要と拒否してきたが、説明会を「質問集会」に切り替える等を条件にすることを含めて、改めて自治会内で検討したうえで、6月6日に開催受諾の可否を回答することとした。

したがって6月13日まではこのまま休戦状態が続く見通しが濃くなったが、過去の庄戸での経験から、事業者に騙されないよう引き続いて警戒を怠りなく取り進める方針である。

なお阻止行動には、庄戸3丁目やグリーンテラスの皆さんの応援を頂き、誠に有難うございました。今後もよろしくご協力の程お願い申し上げます。(朝日平和台 松本)

活動記録

- 5/28 かながわ大気汚染道路公害連絡会
(於：県民センター)
- 5/30 首都圏道路問題連絡会・交流会
(於：市川市市川公民館、
外環道 松戸～市川間現地見学会)
- 6/01 全国公害被害者総行動デー(於：日比谷)
霞が関官庁街デモ行進、総決起集会参加
- 6/01 道路全国連実行委員会
・国交省道路局要請行動(国交省会議室)
・道路全国連 幹事会(於：日比谷)